

## 特別寄稿

「お金の知識をあなたの力に」  
J-FLECの取組みについて1. 金融経済教育推進機構  
(J-FLEC)の取組み

本年4月に設立された金融経済教育推進機構が、今月から本格稼働しました。英語名称は「Japan Financial Literacy and Education Corporation」、愛称は「J-FLEC」(ジェイ・フレック)です。世代を問わず優しくポジティブな印象をもっていただけるように親しみやすいロゴマークを採用しました。国民一人ひとりが、より自立的で安心かつ豊かな生活を実現できるよう、全国で広く「学びの場づくり」に取り組みます。読者の皆様やその他関係者の方々とともに、官民一体となって、国全体で広く、誰一人取り残さず、定期的に金融経済教育を受けられる機会を提供すべく、取り組んでいきたいと考えています。

J-FLECは、①講師派遣事業、②イベント・セミナー事業、③「J-FLEC はじめてのマネープラン」無料体験事業(個別相談の無料体験事業)、④「J-FLEC はじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業、⑤学校等への支援事業に取り組みます。そして、これらを支える根幹となるのが、中立性を有し、顧客の立場に立ったアドバイザーをJ-FLECが認定・公表する「J-FLEC認定アドバイザー制度」です。本節では、前述の事業のうち、①講師派遣事業と③「J-FLEC はじめて

のマネープラン」無料体験事業について、ご紹介します。J-FLEC認定アドバイザー制度については、次節で後述します。

J-FLECは、今月から、全国の企業や学校等に要件を満たしたJ-FLEC認定アドバイザー(J-FLEC講師)を派遣し、出張授業(無料)を行う講師派遣事業の受付を開始しました。この講師派遣では、年齢層別に最低限身に付けるべき金融リテラシーを体系的に整理した「金融リテラシー・マップ」に沿った研修・授業を実施します。同じ社会人であっても、ライフステージに応じて学ぶべき内容は異なります。例えば、若手であれば給与明細の見方やクレジットカードとの付き合い方等に関心があるかもしれませんが、中堅になると、家計の見直しや資産形成、住宅ローン等を考える機会が必要かもしれません。そして定年が近づくと退職金の扱い方や資産寿命の延伸等も視野に入ります。

企業型DCにおける継続投資教育について「実施したことがある」と答える事業主と「継続的に受けた」と回答する加入者側の認識に大きなギャップがあるように、J-FLECとしては、職域教育には質・量ともに大きく改善の余地があると考えています。多忙な働き手にとって身近な場で学ぶ機会を得られるメリットは大きいでしょう。従業員の経済的な安定を支援する取組

みは「ファイナンシャル・ウェルネス」と呼ばれ、従業員エンゲージメントの向上を通じて、企業価値向上に繋がると指摘されています。中小企業を含む幅広い企業経営者や人事・福利厚生担当者の中には、従業員の新規採用やリテンション強化、すなわち人的資本への投資の観点から、職域での金融経済教育の開始や充実を検討するケースも増えるのではないのでしょうか。J-FLECとしては、ファイナンシャル・ウェルネスの実現に向け、講師派遣事業を通じて、こうした企業を支援していきます。

また、J-FLECは、お金に関するアドバイスの価値や意義を知っていただくきっかけとするため、要件を満たしたJ-FLEC認定アドバイザー(J-FLEC相談員)による個別相談(最大1時間、事前予約制)の無料体験を提供し、個人の状況に寄り添ったアドバイスをお届けします。

さらに、この個別相談とあわせ、お金に関する疑問や質問について、J-FLEC相談員が回答する電話相談窓口(最大30分、事前予約不要)も設置しました。

## 2. J-FLEC認定アドバイザー制度

お金に関する悩みについて気軽に相談し、継続的に良質なアドバイスを受けられる環境の整備が重要ですが、「顧客にとって誰が信頼できるアドバイ

ザーであるかが分からない」等の課題も指摘されています。様々な形で良質なアドバイスがより広く提供されるよう、J-FLECにおいて、中立性を有し、顧客の立場に立っていると評価可能なアドバイザー(J-FLEC認定アドバイザー)を認定・公表します。

J-FLEC認定アドバイザーは、J-FLECが定める要件に合致し、所定の審査を通過した個人のことを指します。J-FLEC認定アドバイザーの認定に当たっては、①金融商品の組成・販売等を行う金融機関等に所属していないか、②金融商品の組成・販売会社から顧客に対するアドバイスの信頼性・公正性に影響を及ぼし得ると考えられる報酬を得ていないか等の要件を設けます。これらの要件に加え、アドバイスの提供に有益な資格及び一定の業務経験を有すること等もJ-FLEC認定アドバイザーの認定要件の1つとする予定です。この「有益な資格」については、例えばCFP®、FP技能検定(2級以上)、DCプランナー(1級)等が挙げられます。

J-FLEC認定アドバイザーについては、J-FLECのウェブサイトにおいて、利用者がアドバイスを依頼する際に参考となる情報(保有資格、得意分野、報酬の目安、実際にアドバイスを受けた個人からの評価等)を公表します。これにより、中立性を有し、顧客の立場に立っていると評価可能なアドバイザーの「見える化」を進め、個人が信頼できるアドバイザーにアクセスしやすい環境の整備を図ります。

J-FLEC認定アドバイザーの募集は、後述のJ-FLECのウェブサイトで行っています。既に多くの方々から、J-FLEC認定アドバイザーへの登録について、高い関心が寄せられております。J-FLECとしても、こうした期待の高まりを嬉しく思うとともに、全国的に金融経済教育を提供するための担い手の確保に向けて、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。

J-FLEC認定アドバイザーの認定を受けた方には、J-FLECの講師や相談員を務めていただき、国民の皆様にお金に関する知識を幅広く伝えていただきたいと考えています。

また、J-FLEC認定アドバイザーは、J-FLECの事業外において、J-FLEC認定アドバイザーの称号を用いて個別相談等を営むことが可能です。この個別相談を多くの方に利用いただくため、J-FLECは、こうしたJ-FLEC認定アドバイザーが自らの生業として提供しているサービスを利用する個人に対して相談料の一部を補助する仕組み(「J-FLEC はじめてのマネープラン」割引クーポン配布事業)を実施します。

これらの取組みを通じて、ホップ(一対多の講師派遣で一般的な知識を習得)・ステップ(J-FLECの無料個別相談で個人の状況に応じたアドバイスを受ける)・ジャンプ(J-FLEC外の個別相談でより詳細なアドバイスを受ける)の3段階で、国民の皆様がお金について継続的に安心して良質な相談を受けられるよう、支援していきたい

と思います。

## 3. おわりに

私たちは生きていくために、日々お金を使っています。他方、そのようなお金について真剣に向き合ったことがある方は、あまり多くないのではないのでしょうか。

現代は、金融・経済に関する情報にあふれ、また金融に関する様々な手法を簡単に試せる時代です。国民一人ひとりがより豊かな暮らしを送るためには、このような状況をうまく活用することが重要です。そのためには、「お金の知識」を身に付け、また時代や状況に応じてこれをアップデートしていただくことが求められます。

「お金の知識を あなたの力に」。これが、J-FLECのキャッチフレーズです。金融リテラシーの向上とは、単に知識を習得するにとどまらず、その知識を適切な判断や行動に結びつけられるようになることを意味します。

金融・経済を取り巻く環境がめまぐるしく変化する中、J-FLECも学びの歩みを止めず、国民やJ-FLEC認定アドバイザー、金融機関、その他関係団体の皆様と一緒に成長していきます。

J-FLECの活動については、J-FLECの公式ウェブサイト等でお知らせしますので、チェックしてみてください。

(参考) J-FLEC公式ウェブサイト



金融経済教育推進機構 理事長  
安藤 聡 (あんどう さとし)

1977年(昭52年)慶大法卒、東京銀行(現三菱UFJ銀行)入行。ジャカルタ支店長などを経て2007年にオムロン入社、17年取締役。23年6月に同社退社。24年4月から現職。東京都出身。